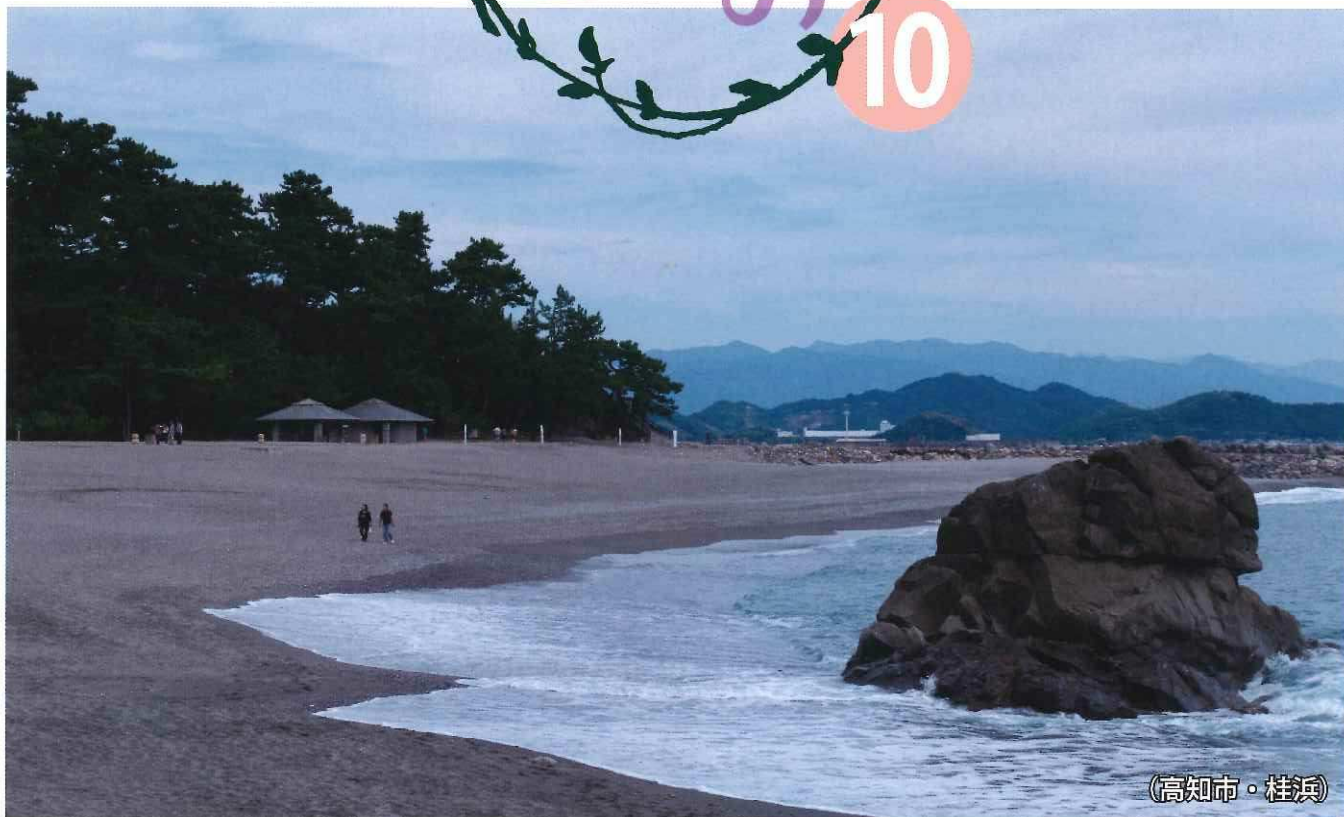


南無阿弥陀仏は
私のいのち



〒110-0012 東京都台東区竜泉 1-20-19
発行所 真宗 佛光寺派 西徳寺
TEL 03-3875-3351 FAX 03-3875-6796
<http://saitokuji.tobihiro.jp/>
発行人 脇阪 義幸
印刷 日生印刷(株) 03-6863-3263



(高知市・桂浜)

見せ消ちを尋ねよ

我々僧侶は経典などの言葉を書き写す「写経」という学び方があるが、短歌の世界でも『万葉集』などを書写する学びがあるのだそう。先日とある短歌の先生から教えてもらったことである。しかも一言で書写といっても、見せ消ち(誤記)も全てそのまま書き写すのだという。

見せ消ちとは訂正前の言葉も読み取れるため、どうやってその言葉に辿り着いたのかを伺うことができる。先人の思索を尋ねる勉強として、見せ消ちも一緒に書き写すのである。

考えてみると、私達は何事もすべて人から教わってきた。例えば私達が当たり前のように日本語を話せるのも、親をはじめとした沢山の方々、いうならば沢山の先生から教えられたからである。この場合は見せ消ちのように目立つものはあまり感じられないが、だからこそ見せ消ちがはつきり表れる短歌や「写経」の大切さを感じる。書写は言葉を持つこと(たも)はもちろん、先生の思索を尋ねる作業であり、先生に出会う作業である。

私の先生は無数について、その先生方にはまたそれぞれの先生がいらっしゃる。恐らくどの方も、「先人が残した見せ消ちを書き写せ」と教わったことだろう。

(高橋 淳記)

ほうおんこう
報恩講へのお誘い

によらいだいひ
如来大悲の恩徳は 身を粉にしても報ずべし
しじゆちしき
師主知識の恩徳も 骨をくだきても謝すべし

報恩講は、親鸞聖人しんらんしょうにんのご命日(旧暦で11月28日, 新暦で1月16日)につとめられる「ご開山かいざん(親鸞聖人)のご苦勞くろう」をしのぶ報恩の講(法要)であります。

「煩惱障眼雖不見 大悲無倦常照我」(正信偈)「私たちは、自らのみにくい煩惱によって、真実の光を見ることができませんし、自分の眼が閉ざされていることすら気付くことができません。そういう迷いの中にいる私たちを救わずにはおれないと、いつでもどこでも阿弥陀様は、その大いなる慈悲(大悲)の光で照らしつづけて頂いている。」ことを一生涯かけて伝え、教えて頂いたのが、親鸞聖人しんらんしょうにんであります。

報恩講に必ず拝読する上記のご和讃わさんは、「この私が南無阿弥陀仏の教えに出遇えたことは、仏様の大悲と先徳のご出世のおかげ」と唯々御礼申し上げるばかりという聖人のお心であります。

西徳寺では、例年の通り下記のごとく「報恩講」をおつとめ致します。ご家族・お知り合いの皆様をお誘いの上、お参りくださいますようご案内致します。

※おときのお申し込みは、11月1日(月)までに同封のハガキにてお願いします。
なお恐縮でございますが、法要修行のためご懇志の上納を宜しくお願い致します。

11月5日(土)

7時30分 晨朝じんじょう (朝のおつとめ)
10時 初日中しよにちちゆう (午前のおつとめ)
法話：高橋速円先生[新潟県・万因寺住職]
11時30分 記念演奏 西徳寺混声合唱団「エコー」
12時 おとき
13時30分 大速夜たかはしそくえん (午後のおつとめ)
法話：高橋速円先生[新潟県・万因寺住職]
15時30分 御伝文ごでんもん拝読(聖人のご生涯)

11月6日(日)

7時30分 満晨朝まんじんじょう (朝のおつとめ)
10時 満日中まんにちちゆう (ご満座のおつとめ)
法話：高橋速円先生[新潟県・万因寺住職]
12時 おとき
13時30分 奉讃法座 (念珠教室)
主催：仏教青年会

公演『いのち』光と闇のご案内

◆期日 平成28年12月1日(木)

第1部 14:30 開場 15:00 開演

第2部 18:30 開場 19:00 開演

(2部公演。同じ内容になります)

◆会場 西徳寺本堂

◆入場料 前売3,500円(税込)/
当日4,000円(税込)全席自由
各公演につき申込み順 先着50様限定
予約申込みは西徳寺まで
TEL 03-3875-3351(担当：高橋)

◆演目

- ・『蛇恋』 百鬼ゆめひな 飯田美千香(人形師)
- ・『LIGHT』 光のありか、懐かしいかおり
蜜月稀葵(舞踊家)、藤原亜美(舞踊家)、
カマレホウジュ(ダンスカンパニー)、
香西克章(指揮者)&混声合唱団 RARA KORUSO、
及川景子(アラブオリエンタルバイオリニスト)、
アブダラー(ダラブッカ奏者)、加藤吉樹(ウード奏者)



舞踊家の蜜月稀葵みつぎまれあと申します。カマレホウジュというダンスグループを主宰し、銀座にアトリエを構えて活動をしております。今年4月に開催された『イナンナの冥界下り』からのご縁で今回、西徳寺さんの本堂にて公演をさせて頂ける事となりました。今回は『イナンナの冥界下り』で共演させて頂いた人形師の飯田美千香さん(百鬼ゆめひな)との合同企画ということで、人形公演と生演奏によるダンス公演の二本立てでお贈りさせていただきます。テーマを『いのち』と題しまして、光と闇。それぞれに表現してみたいと思います。

ダンス公演『LIGHT』では、声明(日本)、アラブ音楽(エジプト)、ユダヤ音楽(イスラエル)、グレゴリオ聖歌(ヨーロッパ全土)と世界を旅するような楽曲達で構成されます。まさに日本から出発するシルクロードの旅のよう。ダンサーは各国に息づくいのちの息吹や異国のかおりを纏い、「光」を表現してみたいと思います。今までに無い異空間を楽しんで頂けたらと思っております。(来月号の「えこお」にて人形公演の内容をお知らせ致します)

沢山の皆さまに、人形公演、ダンス公演を体感して頂きたく、趣向を凝らして楽しんで頂けるよう作品作りに取り組んでおります。「人形?ダンス?どんなものかな?どれどれっ!」といったお気持ちで、足をお運びい頂けましたら最高に幸せでございます。

どうぞ、よろしくお願い申し上げます。皆さまのご来場を心よりお待ちしております。

親鸞さんのことば

難思の弘誓は
難度海を度する大船、
無礙の光明は
無明の闇を破する慧日なり。
『教行信証』『総序』

松井憲一

(私たちのおもいを越えた阿弥陀

仏の本願は、どこまで行つても岸にたどり着けない迷いの海をわたす慈悲の人船であり、さわりなき光は、行き先のみえないこの世の闇を破る智慧の陽光である。)これは、親鸞聖人の主著『顕浄土真実教行証文類』(『教行信証』)の冒頭の言葉です。

わたしたちは、「似て欲しい」ところは似ない のが親子」「父の日はゆつくりしてと 妻は外」という家族や、「会社にも あつたらいいな 保健室」という職場や、「災害は 忘れた頃に やってくる」天災や人災などで、おもわぬ苦勞をします。戦乱や流罪や飢饉などを経験した聖人

は、そうした苦勞の絶えない人生を「難度海」(渡りがたい海)にいるようなものだといわれました。

わたしたちは、苦勞が続くと、この苦勞はどこまで続くのであろうかとますます不安になり、藁に頼つても、苦しみを逃れようとしつめます。しかし、荒れ狂う大海の中で、藁をつかめば、かえつて早く沈むことになり、信者の字を横にくっつけて書くこと儲けるという漢字になりますが、信ずることがご依頼信仰になるのがわたしたちの日常であります。

南米ウルグアイの前大統領、ホセ・ムヒカ氏は、「貧しい人とは無限の欲があり、いくら持つていても満足しない人」といわれましたが、欲の満足を願うご利益信仰は、個人の利益をもとめることに留まります。おのれよければすべてよしという願いは、格差を助長して、落ちこぼれを産むことにもなります。それで、聖人は、「難度海」にいる私たちのすべてが渡るには、生きとし生けるものを救済しようと誓った阿弥陀仏の本願、すなわち「難思の弘誓」の「大船」に出遇うしかないといわれました。わたしたちは、「乳母車 自転車

車椅子」というようにその一生を、

無限のかかわりと支えに乗せられて、生かされています。良くできた人だけを乗せる小船ではなく、すべての人を救おうとする大船に、すでに乗せられているからこそ、生きておられるのです。ところが、大船に乗せられないながら、本心に渡りきることができるのであろうかと、心配をしてみています。その心配は、阿弥陀仏の本願のまことを知らず、大船の中にいながら大船を疑う心です。疑う心がある限り、明るい人生は開けません。

それで、「無礙の光明は無明の闇を破する慧日なり(さわりなき光は、行き先のみえないこの世の闇を破る智慧の陽光である)」といわれるのです。「無礙」は、身の煩いや、心の悩みにさまたげられないことであり、「光明」は智慧のことです。阿弥陀仏の明るい智慧にふれて、「無明の闇(私の事実)に暗い姿」が知らされ破られるのです。それを、太陽が出て夜があけることに譬えて、「無明の闇を破する慧日なり」といわれます。

わたしたちが、今本当に必要としているのは、ご利益信仰ではなく、ご

利益信仰でしかない心の闇を破り、

ありのままの事実を受け取る智慧の光に出遇うことではないでしょうか。さわりなき光によつて無明の闇が破られるとき、わたしたちを縛つていたのは煩惱であつたとはつきりします。さわりなき陽光にあえば、「罪障功徳の体となる こそりとみずのごとくにて こそりおおきにみずおおし さわりおおきに徳おおし(『高僧和讃』)」と、わが人生の全体をそのまま受け入れて、立ち上がる世界を頂戴するのであります。



(善通寺蔵・親鸞聖人木像)

山門の言葉

国境なき南無阿弥陀佛

先ほど、民族の祭典リオデジャネイロオリンピック、パラリンピックが盛況裡に終わった。今回、閉幕に当たってのメッセージは非常に印象深いものだった。

特に、心引かれたのは宗教を越えて地球の平和を実現していこうと呼びかけられた点である。宗教を中心にはない、「宗教を越えて」である。地球の悲劇は宗教戦争が根っこになっているからであろう。

ところで今、注目されているのは国境なき医師団の活躍である。

報道によると地球上で五秒に一人はかないいのちが消えていくと言われている。おびただしい貧困の実態。待ったなしのSOSだ。

我が国では、昭和二十七年、国会において宗教法人法が成立し、真宗という宗派に組み込まれたが、その時、親鸞聖人を宗派の開祖と報告した。しかし、国境なき教えである南無阿弥陀仏を明らかにされた親鸞聖人は、宗派を越え民

族を越えたお方である。

その為に、七五〇回大遠忌をお迎えしたときも「南無阿弥陀仏は私のいのち」をスローガンに掲げ、あらゆる人々のいのちの平等や尊さを聞き開いて行く活動を展開してきている。国境なき南無阿弥陀仏のいのちに目覚めることがもとめられているのではないか。
(大谷 義博 記)

日誌

- 8月21日 RARA KORUSO 演奏会
- 8月27日 社交ダンス練習会
混声合唱団「エコー」練習
- 8月27日・28日 宗祖忌
- 8月28日 仏教青年会主催バーベキュー大会
- 9月3日 評議員会定例役員会
社交ダンス練習会
混声合唱団「エコー」練習
- 9月5日～9日 本山 第十一次聞法推進員養成研修会
(高橋・仲井参加)
- 9月7日・8日 中興忌
- 9月9日 『唯信鈔』に聞く 講師 宗 正元師
- 9月10日 同行会「現代の聖典」に聞く
法話 仲井 真裕
- 9月13日 仏教青年会『歎異抄』に聞く
講師 宗 正元師
- 9月14日 婦人会聞法会
- 9月15日 責任役員会・総代会

えこお志お礼

栃木県 大塚 静江 様
蓮田市 谷 久子 様

ご浄財を頂戴いたしましてありがとうございます。
ご芳名の掲載をもってお礼とさせていただきます。



第 324 号

婦人会専用口座：
名義 西徳寺婦人会
番号 10030 239 82431

～法語カレンダーに聞く～ (2016年9月号)
「一生悪を造るとも 弘誓に値^{くげい}いて救^あわるる」

『仏説観無量寿経』では、私たちの身には生まれたときから、十の悪が具わっていると教えられる。身に三つ、口に四つ、意(識)に三つに分けられる。口には他より多い四つの悪がある。昔から「口は災いの元」ということわざがあるように、我々の口というのが、どれほど罪深いかということを忘れて、日々生活をしているのではないだろうか。

私も結婚して一年が経ち、家事全般は妻にお任せである。しかし料理のことや掃除のことで、ついつい口を出してしまうことがある。任せているとはいっておきながら、任せきれない私がいる。どこまでも自分の思いや考えを中心にし、相手に押しつける。さらに悪いことには、反省することもあるが、気づかないうちに、結局同じことを何度も何度も繰り返している。それが私の姿である。

弘誓に値うとは、我が身が照らされることであると教えられる。自分の思う善は、時と場合で私の都合のいいように変化する。私の心は、そのご都合主義の善が間違いないと信じて疑わない。そういう自我を捨てることのできない罪悪深重の身に気づかされるのが、本当の救いである。自力では知り尽くすことのできない十悪の身は、他からの力によって、さまざまな相^{すがた}で知らされてくる。それは妻であったり、家族であったり、友人であったり、人から教えられることもあれば、病気や災害のように、自分の生活の中で思いがけず落ち込むような出来事を通して、あらためて自己が問われることがあるのではないか。時が熟すれば、過去の思いがけない出来事が縁となって、今の私を導いてくれる教えとして現前するのだと思う。それが弘誓に値う、仏の光に遇うということではないだろうか。(蓮井 邦宗)

次回聞法会ご案内

日時 平成 28 年 10 月 19 日(水) 午後 1 時～ 3 時
場所 西徳寺 星月の間
法話 法語カレンダーに聞く(真宗教団連合カレンダー)
「まどいの眼には見えねども ほとけはつねに照します」
最高顧問 大谷 義博
蓮井 邦宗



ひとこと

残暑厳しい中、体調はいかがですか。

秋分の日も過ぎ、11月5日、6日は西徳寺報恩講です。皆様忘れずにお出かけください。初日には、混声合唱団「エコー」の演奏があります。練習の成果を本堂にて披露します。私たちの音楽を聞いていただきたいです。一生懸命頑張りますので、よろしくお願ひ致します。

(並木 慶子)

掲示板 平成28年10月

- 1日(土) 午後1時 **社交ダンス練習会**
午後3時15分 **混声合唱団「エコー」練習**
- 8日(土) 午後6時 **同行人「現代の聖典」に聞く**
法話 大谷 義博
- 12日(水) 午後1時半 『唯信鈔』に聞く 講師 宗 正元師
- 15日(土) 午後1時 **社交ダンス練習会**
午後1時半 **定例聞法会**
午後3時15分 **混声合唱団「エコー」練習**
- 16日(日) 午後2時 **城東ブロック会間法会(金町ゲストハウス)**
- 18日(火) 午後7時 **仏教青年会**
- 19日(水) 午後1時 **婦人会間法会**
- 23日(日) 午後2時 **城南ブロック会間法会(三茶しゃれなあど)**
- 26日(水) 午前10時 **仏具磨き**
- 29日(土) 午後1時 **社交ダンス練習会**
午後3時15分 **混声合唱団エコー練習**
- 30日(日) 午後2時 **中央ブロック会間法会(本堂)**
午後2時40分 **台東区合唱祭**
(東京藝大・奏楽堂 エコー出演)

今年も奏楽堂の舞台に立ちます! (西徳寺混声合唱団「エコー」演奏会のご案内)

日時 平成28年10月30日(日) 14時40分から出演

場所 東京藝大・奏楽堂

指揮 朝田祐子 ピアノ 金澤麻里子

ずいずいっころばし・あの町この町・赤とんぼを歌います。

今年も台東区合唱祭に出演することが決まり、東京藝大・奏楽堂の舞台に立つことになりました。昔から歌い継がれている日本歌唱を歌います。他、素晴らしい団が多数出演しますのでぜひお越しください! (高橋 淳 記)

西徳寺報恩講 記念演奏 皆さんも一緒に歌いましょう! (西徳寺混声合唱団「エコー」演奏会のご案内)

日時 平成28年11月5日(土) 11時半～

場所 西徳寺 本堂

指揮 横山慎吾 ピアノ 金澤麻里子

真宗宗歌・恩徳讃・おつかいやぎさん など

いつもの仏教歌や日本唱歌の他に、どなたも口ずさんだであろう童謡も披露します。小さい頃のことを思い出していただけただけなら幸いです。応援よろしくお願ひします。(高橋 淳 記)



仏具磨きのお誘い

今年の報恩講は11月5日(土)・6日(日)の2日間、西徳寺の本堂でお勤めいたします。昨年同様、今年も本堂内陣のお仕度や第1会館お内仏の仏具磨き、境内や施設等の清掃をお手伝いいただきたいと思ひます。お忙しいことは存じますが、宜しくお願ひ申し上げます。

皆さんが心を込めて磨いた綺麗な仏具のお仕度で、ご一緒に親鸞聖人の報恩講をお勤めをいたしましう。

尚、当日は昼食をご用意いたします。ご都合の付く方は是非ともご参加ください。

期日 平成28年10月26日(水) 午前10時から

(雨天の場合、翌27日(木)に変更いたします)

場所 西徳寺境内

※参加いただける方は、10月22日(土)までに寺務所までご連絡ください。

TEL 03-3875-3351

(主任 木村 記)



仏教青年会主催バーベキュー大会

去る8月28日(日)、毎年恒例となりましたバーベキュー大会を開催いたしました。昨年に続き、あいにくの天気の中でしたが、約180名参加をいただき、賑やかに開催できました。

本堂でお勤めをし、住職の柔らかなご法話を聴聞いたしました。その後の乾杯からバーベキューの始まりです。鉄板の前、ドリンクコーナーの前には行列ができ、子供達はボウリングやダーツを楽しみました。残念ながら花火は雨の為中止になりましたが、皆様の楽しそうな笑顔が印象に残りました。

尚、今回も皆様から戴きました会費、寄付金31万8千円は東日本大震災で甚大な被害に遭われました方々へ義援金として、福島県自治体に送金いたしました。

今年も様々な方からたくさんのご寄付と、片付けなど、多大なるご協力をいただき、開催することが出来ました。ありがとうございました。

また来年もお誘い合わせの上、ご参加ください。(仲井 真裕 記)



西徳寺報恩講奉讃法座 自分で作った珠数でお参りしよう! 仏教青年会主催「念珠教室」

日時 平成28年11月6日(日) 13時30分より

場所 西徳寺 せんだんの間

会費 1,000円

※皆様と作った念珠は、お持ち帰りいただけます。どなた様もご参加いただけます。皆様お誘い合わせのうえご参加ください。

編集後記

旧盆に長男を連れて自坊へ帰省した折、母親が傘寿を迎えることもあり、三人で旅行に出かけました。地元の博物館や観光地を巡り、久しぶりに孫と過ごすことをとても喜んでくれました。

宿での夕食の最中、台風の影響で1時間半ほど停電しました。電力が使えないことで全ての施設が麻痺してしまい、食事開場で軟禁状態となりました。かつては大自然の厳しさに立ち向かってきた先人の歴史は色褪せ、科学技術に全幅の信頼をおいている人間の脆さを思い知らされました。(主任 木村 記)

西徳寺ホームページアドレス:

<http://saitokuji.tobihiro.jp/>

ゆうちょ銀行お振り込み口座 00120-0-80670 名義 西徳寺

※「えこお」に対してのご意見・ご感想をお寄せ下さい。(メールでも結構です)

saitokuji@ce.wakwak.com